

## は じ め に

放送教育開発センターは、昭和53年10月に設置された大学共同利用機関である。本センターは設置以来「大学放送教育実験番組・研究開発番組」の制作・放送や「放送利用の大学公開講座」の実施等を通して、放送を利用した大学教育の新分野の研究開発と大学教育の開放の促進等を行ってきた。放送利用の大学教育は、放送番組(テレビ及びラジオ)、印刷物(テキスト等)、面接・通信による学習指導等の多様な媒体と方法の総合的な活用によって学習者を時間や場所等の制約から開放し、大学教育における弾力的な学習とその向上を図ろうとするものである。

放送利用の大学公開講座(放送公開講座)は、本センターが大学及び番組制作放送機関(放送局)と共同して行っている研究開発事業で、放送を利用して行う大学教育の内容・方法等の研究開発、大学教育の開放の促進及び大学における教育方法の改善に資することを目的としている。

本事業は、昭和53年度依頼、本センターが各大学に依頼して実施しており、番組の制作及び放送は、財団法人民間放送教育協会に委託している。当初は、東北、金沢及び広島 の 3 大学で実施されたが、逐次、実施大学が拡大され、昭和63年度は北海道大学、東北大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、愛媛大学(四国地区)、熊本大学、琉球大学(沖縄地区)、高岡短期大学の12大学で、テレビ12科目、ラジオ10科目の計22科目の講座を実施した。

本報告書は、昭和63年度の放送公開講座に関する実施報告書であり、Iで講座全体の実施の概要を、IIで各大学及び放送局からの実施報告を、IIIで受講生に対するアンケート調査等の調査研究結果及び番組制作にかかる所見等を掲載している。またIVは、第6回放送利用の大学公開講座シンポジウムの実施報告を、Vは各放送利用の大学公開講座番組制作放送局における番組制作日程表を掲載したものである。

また、本報告書は、各実施大学及び制作放送局からの報告書をもとにしてセンターが取りまとめたものであるが、各実施大学はこれとは別に独自の実施報告書を刊行しており、講座の実施体制、実施状況等、より詳細な報告が掲載されているので、ご参照いただければ幸いである。

本年度は、放送教育開発センター創立10周年にあたり、また放送利用の大学公開講座も開講して10年を迎えることから、その記念事業の一環として「放送公開講座コンクール」を実施し、その審査発表及び授賞式をシンポジウムにおいて取り行なった。(この詳細については、IV. 第6回放送利用の大学公開講座シンポジウムの実施報告参照)

現在、放送利用の大学公開講座は、内容面でも組織面でも質的な発展を求められてきているといえよう。講座内容の充実はもちろんであるが、講座番組の二次利用等その総合的な充実、発展のために、これまでの実績を目に見える形で蓄積し、講座を実施していくうえで役立つ資料を提供できるよう、講座実施に付随した各種の調査研究を一層推進していきたいと考えている。各大学共通アンケートの充実及び実施方法の統一化とそのより詳細な分析も、また調査研究項目を洗い直して4つの大きな調査研究テーマを設定したのもその一環であり、平成元年度へ向けての足固めをしたところである。

これまでこの放送利用の大学公開講座に払われた関係各位の御尽力に切に感謝するとともに

に、今後の放送公開講座の一層の発展のためにさらなる御協力をいただけるようお願い申し上げる次第である。

平成元年12月

放送教育開発センター